

# 平成30年市町村広報コンクール審査票(町村部)

○広報紙の名称「広報うえの 11月号」

## 評価された点

- 小さな村の広報らしく、フレンドリーな企画が豊富で、親しみの持てる紙面だ。特によかったのが「三上先生からのお知らせ」「Dr. けみ～診療所」「保健師さんのすこやかアドバイス」の健康に関する3本の企画。日頃から住民と接している歯科医師、医師、保健師さんが住民目線に立って健康な生活のための助言をしている。やさしい言葉で、写真やイラストも多用している。「駐在さんのアドバイス」も同様にいい企画だった。
- 「かじかの里学園だより」も地域性のある話題でよかった。生徒の感想だけでまとめた方法もいい。生徒の成長が楽しみだ。
- 緑のふるさと協力隊の「かたらせて！」も味のある企画。イラストもよかったが、できればポーズ写真を見たかった。
- 広報カレンダーも便利。診療所の休診日やゴミ出しの日が一目で分かって親切だ。
- 読み物的な記事を排して、行政・暮らし情報に徹底している点は、むしろ割り切り感があってよい。村予算の詳細や駐在さんのアドバイス、歯科診療所、へき地診療所毛見先生の広報など生活に直結する社会情報、健康情報が盛りだくさんでよくまとめている。
- 巻末の「かたらせて」は、Iターン者の肉声を紹介しており、上野村ならではの独自色が出ている。
- 村の決算報告が分かりやすい。行政用語になじみのない人でもよくわかる文章になっているのはすばらしいし、詳しく知りたければグラフや図表を見ればよいという作りになっている。小規模自治体の広報の1つのお手本ではないか。
- 「上野村の家計簿」の記事は村の財政状況をわかりやすく伝えようとする努力が見られる。ただ7ページ目の文字が小さくて見づらい。
- 15ページ目から17ページ目にかけての「健康もの」は他自治体にはないユニークな企画。村民にとっても役立つ情報。

## 平成30年市町村広報コンクール審査票(映像)

○映像作品の名称「Drのっぼの みんなで体操」(上野村)

### 評価された点

- へき地診療所の医師が指導する手法がいい。住民にとってなじみがあり、信頼する医師が指導することで、体操をしようとするお年寄りが増えるのではないかと思う。
- 指導が具体的で分かりやすい。この体操をすればどこの筋肉が鍛えられ、どんな効果があるのかや、さらにより効果的な体操の仕方がよく分かった。
- 映像が流れる速度が的確だった。映像を観ながら、実際に体操することができた。
- 高齢化が進む村民のためにこうした健康増進映像を制作する発想はとても良い。お年寄りには体を動かすいいきっかけになっているのでは。
- 地元にいる医師が出演しており、村民は身近に感じ体操をやってみようと思うのではないか。
- 体操がシンプルでわかりやすく、実践しやすそうだった。
- 村民に親しまれているであろう診療所の医師を起用し、分かりやすく解説されている。
- 医師の語り口がゆっくり聞き取りやすい。